

令和7年第2回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

令和7年6月5日（木）～9日（月）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
6月5日	たからづか真政会	桑原 健三郎 議員	120 分	9:30～11:30
	日本維新の会 宝塚市議団	伊庭 聡 議員	120 分	12:45～14:45
	公明党議員団	藤岡 和枝 議員	120 分	15:00～17:00
6月6日	市民ネット宝塚	寺本 早苗 議員	120 分	9:30～11:30
	ともに生きる 市民の会	梶川 みさお 議員	120 分	12:45～14:45
6月9日	結志の会・ たからづか改革の道	末永 やよい 議員	120 分	9:30～11:30
	日本共産党 宝塚市会議員団	田中 こう 議員	120 分	12:45～14:45

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発 言 事 項 及 び 発 言 者
1	1 財政非常事態に関する認識について (1) 市長選挙の出馬会見での「福祉予算は最後の砦」「手をつけたいとは思っていない」「最もいじりたくないところ」との発言と施政方針における「聖域を設けない改革や見直しが不可欠」との整合性について (2) 財政健全化に関して「事務事業の廃止やスリム化、転換などを迅速に」とあるが、具体的な期間・目標値の設定はどのように考えているのか (3) 市長給与の50%減額を「持続可能な財政運営のきっかけ」としているがその意図は (4) 財政非常事態宣言の発令について 2 市政運営の基本方針について (1) 「今までの経緯や現状に関する徹底的な分析と評価が重要」とあるが、市民と専門家の力を結集するための具体的な方策は。また「今までの経緯」とは何を指すのか (2) 「新しい宝塚」とはこれまでの宝塚との何を対比して表現した言葉なのか (3) 医療、福祉、介護、保健の新たなネットワークの構想の詳細は (4) 暮らしの様々な側面へのソフトとハード両面の環境整備と持続可能で切れ目のない支援について ア 子どもたちを地域や社会が温かく見守り支援する環境づくりの具体策は イ 公共交通について、結果検証や在り方検討に1年を費やすのか。それとも新たな構想があるのであればその詳細は (5) 公共施設とインフラの適切な維持管理や活用策の「創出」はどのように行うのか (6) 市民、専門家などを行う定期的な対話の場の開催頻度、規模、場所や所要時間など、どのような想定をしているのか (7) 全ての領域における事務事業の整理を迅速に行う、とされているが昨年までの事務事業見直しとの違いを示すため、どのような覚悟で挑むのか (8) 公共の施設を活用したにぎわいの創出の取組内容 3 主要な施策について (1) 都市経営 ア 建物施設の包括管理業務委託の導入方針と費用対効果及びリスクとその対策について イ 地域ごとのまちづくり計画の後期計画の策定にあたり、まず前期5年の評価

	と反省は ウ 戦後８０年にあたり、日本国の平和維持に中心的な役割を担う自衛隊に対する市の認識と今後の関わりについて (2) 安全・都市基盤 ア 下水道事業のウォーターＰＰＰ導入準備について課題として認識していることは何か イ 安全・安心カメラ（防犯カメラ）の更新の時期と財源について (3) 健康・福祉 ア 新病院整備のスケジュール見直しの理由、方向性、期間は イ 病院経営の健全化をどのように実現するのか ウ 障碍（がい）福祉基金への２億７，７００万円の積立て経緯と目的について (4) 子ども・教育 ア 子どもの貧困対策について、「手法を見直す」としているがこれまでの取組の課題をどう認識し、改善するのか イ 部活動の地域移行について ウ 教育環境整備に関する基本方針の内容と策定意図について エ 教育行政への森市長の関わり方と責任について (5) 環境 ア パークマネジメント計画の現状について イ 「宝塚市環境基本計画」「生物多様性たからづか戦略」の改定に関して、市の新たな視点は (6) 観光・産業・文化 ア 地場産業である花き・植木産業の魅力発信策と伝統技術継承策について イ 市内における起業の機運を高めるための他市と比較して優位性のある取組は ウ 直近２０年の法人関係税収と法人数の推移 エ 西谷（北部）地域における遊休農地等の活用支援の状況 オ 市内での花火大会等への協力体制について （たからづか真政会 桑原 健三郎 議員）
2	1 市政運営の基本方針について (1) 市政運営における課題の認識と分析、評価における中長期的な改革について ア 「市民の暮らしと未来のための財政健全化に最優先で取り組み」とあるが、どのようなリスクを想定し、財政健全化のため具体的に何に取り組むべきと考えるか イ ネットワークの構築によってどのような運営効率が高まると想定し、市立病

院の財政負担軽減や経営改善につながると想定しているのか
ウ 事務事業の整理による今後の経営（運営）方針について

(2) 将来における財政課題への対応

ア 今後、市の財政調整基金が標準財政規模の10%を下回った場合、回復までの期間の想定、財政シミュレーションは想定できているのか

2 都市経営について

(1) 持続可能な財政運営について

ア 「これからの時代にふさわしい行財政経営の実現」とは、具体的に何を指すのか

(2) DXの取組について

ア データの可視化・分析、データの利活用による政策立案、業務改革を行政組織として推進するためのロードマップ（対策）は

(3) 広報活動について

ア 広報基本戦略に基づく取組の具体的な進捗状況と成果について

イ 職員の広報マインド醸成を目的としたスキルアップ研修の効果測定と評価方法について、また課題解決のためのアドバイス会議の進捗状況と成果について
ウ リニューアル予定の市ホームページにおける、利用者視点の情報設計について

エ 広報活動における市民との双方向性確保の取組について

(4) 協働・共創について

ア これまでの「宝塚大会議」の経緯を踏まえ、包括連携協定締結先とどのような課題を共有・検証し、市として地域課題の解決に向けて取り組むのか

3 安全・都市基盤について

(1) 防災について

ア 食糧や携帯トイレなどの備蓄物資の充実を図るとあるが、市として災害時における避難所などで使用する防災トイレなどの講習についての考え方は

(2) JR武田尾駅のバリアフリー化について

ア 駅舎の概略計画と駅周辺地区のバリアフリー基本構想の令和6年度までの進捗状況について

イ 地質調査などの結果、2基のエレベーターの設置は可能であると理解しているが、その後の進捗状況について

ウ エレベーターを含めた駅施設の維持管理の方法（ランニングコスト）や、土地利用について使用賃貸契約による貸与となったのか、JR西日本との協議の進捗状況について

(3) 水道について

	ア 「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を財源とした水道基本料金の減免について、対応はいつからの予定とし、いつまでの減免対応を予定しているのか イ 物価上昇と有収水量の減少による影響について市としての取組は 4 健康・福祉について (1) 市立病院について ア 新病院整備に向けた基本計画の策定について、スケジュールを見直すところがあるが、どのような見直しを策定するのか 5 子ども・教育について (1) 中学校の部活動について ア 「宝塚市における中学校部活動の地域移行基本方針」が策定されたが、策定後から現在までの地域移行への進捗状況について (2) 学校給食について ア 交付金の支援終了後、給食の質を維持し、持続可能な形でどう負担軽減策を講じていくのか イ 「質を維持」とあるが、具体的にどのような指標や基準で評価しているのか 6 予算規模について (1) 財政規律に基づく健全で持続可能な今後の財政運営について ア 健全な財政運営に取り組み、成果重視の行財政経営へ転換するための課題とポイントについて イ 機能的で連携の取れた業務体制を構築するロードマップについて （日本維新の会宝塚市議団 伊庭 聡 議員）
3	1 財政非常事態に関する認識 (1) 財政健全化の実現のために、聖域を設けない改革や見直しが不可欠とのことだが、具体的な改革とは 2 市政運営の基本方針 (1) 「ひとりひとりにやさしい、ささえあいのまち宝塚」という目標を見失わず、軸を貫くための徹底した「分析と評価」とは、具体的にどのような改革を指すのか (2) いのちを守るまち

ア 医療、福祉、介護、保健に係る事業を総合的に改革するネットワークの構築の具体的なスキームとその効果は

(3) 暮らしを支えるまち

ア 全ての世代の方々の暮らしの様々な側面についてソフトとハード両面の環境を整備し、持続可能な形で切れ目なく支援するとは、具体的にどのような支援を指すのか

(4) 未来につづくまち

ア 市民の皆様との定期的な対話の場というのは、どのような形態を想定しているのか

イ 全ての領域における事務事業の整理は、具体的にどのように進めていくのか

ウ 公共の施設を最大限利活用し、まちのにぎわいを創出する市内の経済循環を好転させていく施策というのは、どのような施策なのか

3 令和7年度予算に関する主要な施策

(1) 都市経営

ア 聖域を設けない改革や見直しとは。具体的に

イ 組織、人材育成について、職員の採用試験を強化し、またデジタル人材の育成、D Xの取組によって、多様化、複雑化する行政需要に応えるとするが、具体的に目指す人材像とは

ウ 公共施設マネジメントの建物施設の複合化や跡地の利活用などの再編方針の方向性は

エ 包括管理業務委託を導入するに当たっての現状の課題とその効果をどのように考えているのか

オ 協働・共創プラットフォームである「宝塚大会議」の今後の展開はどのように考えているのか

カ 女性支援相談室の昨年の実績と検証そして今後の在り方について

(2) 安全・都市基盤

ア 避難所の環境改善についての課題と今後の拡充策は

イ J R武田尾駅のバリアフリー化事業のスキームは

ウ ウォーターP P P導入の課題と目的は

(3) 健康・福祉

ア 救急安心センター事業# 7 1 1 9の事業概要

イ 産後ケア事業の拡充内容

(4) 子ども・教育

ア 子育て中の保護者や若者から意見をいただく体制は具体的にどのように考えているのか

イ いじめ、不登校支援のうち、児童生徒に対する学校への適応感やいじめに関

	するアンケートについて、昨年度の取組とその成果は。導入する目的は ウ 教育環境整備に関する基本方針の策定と将来にわたる適正な学校規模のあり方や学校を中心とした地域づくりを検討する制度設計は具体的にどのように考え、進めていくのか (5) 環境 ア 「宝塚市パークマネジメント計画」の全体計画と地域ごとの公園区計画の具体的な方向性は イ リバースオークションの概要と導入目的は (6) 観光・産業・文化 ア 観光振興について、地域経済活性化とまちのにぎわい創出につなぐ具体的な取組とは イ 文化芸術振興について、文化芸術センターの位置づけとエリアマネジメントの観点での役割は (公明党議員団 藤岡 和枝 議員)
4	1 財政非常事態に関する認識 (1) 財政健全化に向けた「聖域を設けない改革や見直し」のあり方について 2 市政運営の基本方針 (1) 医療、福祉、介護、保健に係る事業の総合的な改革とネットワークの構築について (2) 政策形成に向けた市民参画、対話の場づくりについて (3) 公共の施設を最大限利活用し、まちのにぎわいを創出することについて (4) 個性が尊重され、自分らしく、安心して暮らすことができる「私たちのまち宝塚」について 3 都市経営 (1) 市長給与を50%減額することについて (2) 人財育成（職員の資質向上、離職防止、女性活躍）について (3) 建物施設の複合化や跡地の利活用などの再編方針を定めることについて (4) 建物施設の包括管理業務委託の導入と課題について (5) 「第2期 地域ごとのまちづくり計画」前期の総括と課題 (6) 協働・共創と「宝塚大会議」について (7) 女性支援相談室の実績と課題について

	4 安全・都市基盤 (1) 避難所の環境改善と地域の防災力の向上に向けて (2) 官民連携まちなか再生推進事業について (3) 下水道へのウォーターP P Pの導入について 5 健康・福祉 (1) 市立病院について ア 市民と専門家を交えて、医療、福祉、介護、保健などの関連施設の統合と連携を検討することについて イ 新病院整備に向けた基本計画の策定スケジュールの見直しとは (2) 産後ケア事業について 6 子ども・教育 (1) 子どもの貧困への取組について（手法の見直し） (2) 民間放課後児童クラブの現状と課題、安全基準について (3) 部活動の「地域展開」について (4) 教育環境の整備について ア 教育環境の適正化に向けた議論の現状 イ 適正な学校規模のあり方と学校を中心とした地域づくりについて 7 環境 (1) 脱炭素化の推進について（リバースオークション） 8 観光・産業・文化 (1) 「ひょうごフィールドパビリオン」の取組と観光振興について (2) 文化芸術センターからの魅力発信と文化芸術の薫り高いまちづくりについて (3) 駅周辺の商業振興について （市民ネット宝塚 寺本 早苗 議員）
5	1 財政非常事態に関する認識について (1) 数年後に財政調整基金が枯渇するほどの危機的な財政状況について ア 具体的な数字の根拠は イ 現時点での財政見通しは (2) 市民との対話を積極的に重ねていくことについて ア これまでの対話集会との違いは

イ 対象は、団体か個人か

2 市政運営の基本方針について

(1) いのちを守るまち

ア 多額のご寄附による状況の好転が「医療、福祉、介護、保健に係る事業を総合的に改革する好機と捉え」の真意は

イ ネットワークの構築により運営効率が高まるという根拠、行財政改革に資するという根拠は

(2) 暮らしを支えるまち

ア 暮らしの様々な側面について「ソフトとハード両面の環境を整備」するという中身は

イ 「公共交通のあり方の検討」の方向性は

(3) 未来につづくまち

ア 「全ての領域における事務事業の整理を、公平、公正、透明に、そしてできる限り迅速に進めます」について、令和6年8月作成の「事務事業見直し」との違いは

イ 「公共の施設を最大限利活用し、まちのにぎわいを創出する」ことについて

3 予算に関する主要な施策について

(1) 都市経営

ア これからの時代にふさわしい行財政経営について

イ 市長の給与を半減することによる効果とデメリットについて

ウ 市民サービスの低下を招かない職員の採用活動の強化と人員確保について

エ 建物施設の安全性の向上や維持管理の効率化を目指す、包括管理業務委託について

オ 地域ごとのまちづくり計画後期計画の「具体的な取り組み」について

(2) 安全・都市基盤

ア 避難所の環境改善について

(ア) 食糧、携帯トイレなどの備蓄物資の充実を図ることについて

イ 都市計画道路について

(ア) 荒地西山線小林工区の通学路等の安全対策について

(イ) 競馬場高丸線鹿塩工区の供用開始の課題について

ウ 下水道事業の「ウォーター P P P」について

(3) 健康・福祉

ア 新病院整備に向けた基本計画の策定のスケジュールの見直しについて

イ 介護支援専門員と主任介護支援専門員の確保について

(4) 子ども・教育

	ア 「子育て中の保護者や若者に子ども審議会委員を委嘱し、市の取組に対し意見をいただく」 ことについて イ ひとり親家庭の子どもに実施している支援や相談などの、手法を見直すことについて ウ 地域児童育成会について (ア) 夏期臨時育成会の継続開設について (イ) 通常の育成会の支援員と補助員の人員確保について エ 民間放課後児童クラブについて (ア) 今年度の設置計画は オ 学校給食について (ア) 給食の質の確保について カ 中学校の部活動地域移行について (ア) 今後のスケジュールと現在の課題について キ GIGAスクール構想におけるタブレット端末の更新に向けて、児童生徒や保護者、学校現場からの要望に応じた端末選定を行うことについて ク 教育環境における過大規模校や過小規模校の対応について (5) 環境 ア 「宝塚市パークマネジメント計画」の進捗状況は イ 太陽光発電設備、蓄電池の導入費用を引き続き助成することについて (6) 観光・産業・文化 ア 文化芸術センターの運営についての現状と課題は イ 北部地域について (ア) 地域計画の達成に向けた取組の支援について ウ 25周年を迎えるあいあいパークを拠点として、身近に花や緑に触れ合える機会を提供することについて (ともに生きる市民の会 梶川 みさお 議員)
6	1 市政運営の基本方針について (1) いのちを守るまち ア 市立病院建て替えについて、「寄附により状況が大きく好転した」との考えであるが、なぜそのように認識されたのか イ ネットワーク構築により期待される市立病院の経営改善をどの程度見込んでいるのか。数値目標があるのか。さらに財政への効果をどのように見込んでいるのか ウ その他にも医療の機能や経営基盤強化に向けて考えられる対策は何か

(2) 暮らしを支えるまち

ア 地域で見守る環境づくりについて、地域のつながりが薄れている状況で「地域で見守る」ことの現実性をどう考え、市の支援策はどうするのか

イ 安全で便利な生活基盤、公共交通のあり方について、昨年実施したオンデマンド交通などの実証実験より導入の可能性は

(3) 未来につづくまち

ア 開かれた市政への市民参画を促すことを目的に市民との定期的な対話の場を設けることについて、対話の場に時間を割くことは容易ではない人もいて、参加しやすい仕組み設計をどうするのか

イ 財政の大きな割合を占める民生費をはじめ、全ての領域における事務事業の整理を公平、公正、透明に行うための明確な基準・評価指標はあるのか

2 主要な施策について

(1) 都市経営

ア 職員の採用活動の強化について、数の確保だけでなく質の向上にどう取り組むのか

イ 公共施設等総合管理計画の改訂に期待する効果と建物施設包括管理業務委託により想定される効果は

(2) 安全・都市基盤

ア 災害・避難所の環境改善について

(ア) 地域住民と自治会との協力体制をどのように構築するのか

(イ) 学校・地域が持つ複数のマニュアルに対しての整合性をどのように図るのか

イ 上下水道について

(ア) ウォーターＰＰＰ導入において期待されているコスト削減の見込みは

(イ) 水道インフラの更新において、どのような基準で優先順位を決め、改修していくのか

(ウ) 水道料金減免と今後の水道料金の値上げの方向性は

(3) 健康・福祉

ア 新病院整備に向けた基本計画策定のスケジュールの見直しの内容について、見直しは、スケジュールだけか、内容には見直しはないのか

イ 産後ケア事業の拡充について

(4) 子ども・教育

ア 給食無償化について

(5) 環境

ア パークマネジメント計画の進捗状況と今後の進め方について

イ 街路樹管理計画における今後の街路樹の管理の方向性と財源確保について

	(6) 観光・産業・文化 ア 現在開催されている大阪・関西万博を通して、宝塚市内への観光客の流入状況やインバウンド効果をどう見ているのか イ 2026年9月に宝塚市で開催される日本女子オープンゴルフ選手権において、万博に続いて地域経済効果をもたらす取組とその周知方法について ウ 歳出の中で年々減少傾向にあり全体の1%も満たない商工費の今後について 3 財政非常事態に関する認識と今後の財政状況について (1) 財政危機を強調されているが、その認識と今回優先された事業（予算計上）についての考え方について (2) 予算計上に当たっては、事業の選別（見送り）、廃止、統合などの事業見直し・スリム化の努力はなされたのか (3) 今後の宝塚市の財政状況や構造改革をどう考えるのか （結志の会・たからづか改革の道 末永 やよい 議員）
7	1 市民の「いのちとくらし」を守るために (1) 戦後80年、今こそ非核平和都市宣言を生かした平和施策の推進を ア 日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞した意義について、市長の見解は イ 政府に対し、核兵器禁止条約への参加要請を ウ 次世代を担う人たちの平和事業への参加促進を (2) 多様性を尊重し、全ての人が大切にされる社会へ ア 選択的夫婦別姓制度に対する市長の見解は イ 同性婚に対する市長の見解は ウ 性的マイノリティの権利保障と理解促進の取組は エ 女性支援相談室がどのように拡充されるのか (3) 子育て・子どもにやさしい社会を ア 認可保育所及び放課後児童クラブにおける待機の現状と課題、その対策は イ 保育士の処遇改善、人材確保、保育の質の向上に対する市の見解は ウ 子どもの貧困を解決・改善するための有効な手立ては (4) 高齢者も現役世代も安心できる公的介護制度を ア 特別養護老人ホームの待機者数と解消に向けた取組は イ 訪問介護における基本報酬削減による影響は ウ 持続可能な介護保険制度のために何が必要と考えるか (5) 障害のある人たちが安心して利用できる福祉サービスを

	ア 身体・知的・精神の３障害について、宝塚市における課題とその対策は イ 福祉避難所の現状と課題、その対策は ウ 障害者虐待の現状と課題、その対策は (6) 医療体制の強化を ア 市立病院が果たすべき公立病院としての使命について、市長の見解は イ 市立病院における医師の長時間労働の現状と課題、改善に向けた取組は ウ 市立病院における看護師の処遇改善と増員計画は (7) 生活に困っている人への支援強化を ア 生活困窮者の住まいに関する相談は最後まで伴走型であるべきだと思えるが イ ひきこもりなど孤立状態になっている人と家族への支援は ウ 生活困窮者へのエアコン設置支援を (8) P F A S 問題について ア 今後の対策は イ 健康不安への対応は (9) 中小企業支援を強め地域を元気に ア 市内の経済循環を好転させる施策は イ 物価高騰や借入金の返済、公共料金の滞納等、困難を抱える中小業者の相談窓口は (10) 子どもも教職員も保護者も希望の持てる教育へ ア 教育費完全無償化について、市長の見解は イ G I G A スクール構想の目標と到達、今後の課題と対策は ウ 子ども・教職員・保護者にとっても、少人数学級が必要ではないか (日本共産党宝塚市会議員団 田中 こう 議員)
--	---